

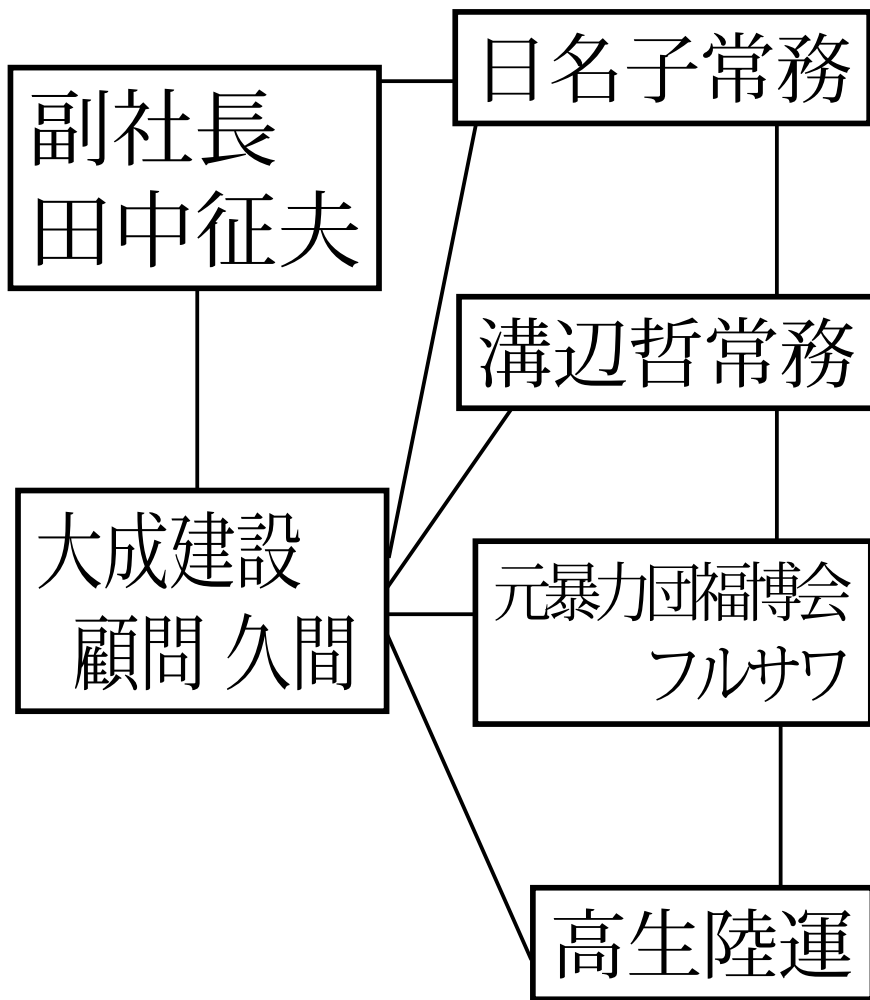
敬天千里眼

敬天千里眼 平成二〇年十一月八日発行(随時)
発行所 敬天新聞社
〒335-0013
埼玉県戸田市喜沢壹丁目二十八番の四十三
TEL 048-229-0007
FAX 048-242-5858

第一弾

暴着に企業公的半 癒着の団絡み力

図構着癒電九



福島県の前知事が中堅ゼネコンの前田建設や水谷建設から賄賂を貰って逮捕起訴された事件も、前田の最終目的は東京電力原発の残土処理独占だったといわれている。

国内のインフラ整備が殆ど出来上がった今日に於いては、建設・土木業者の行く末は厳しいものがある。その点、電力会社等は公的な側面が強く、それこそ永久になくならない企業の一つである事は確かである。

だからこそ、電力会社にはコンプライアンスをしっかりと守って頂かねばならないのであるが、九州電力の場合はどうもそうではないらしいのだ。「オール電化すれば、ガスよりも年間十数万円安く

なる」と謳い、景品表示法違反(誇大広告)で排除命令を受けた、というのだ。本当なら素晴らしい話なのだが、排除命令を受けたというなら嘘という事になる。消費者を騙したという事だ。中小企業や新興企業ならともかく、市町村の中核企業である九州電力が嘘を言う

てはいかんだらう。九州電力副社長と大成建設「顧問」ところが九州電力の腐った部分はこのものではないという。業者との癒着、暴力団との癒着、官との癒着が酷いのだという。代表例は田中征夫副社長と大成建設・元九州支店長で現顧問の久間火傷を負う事になる。

氏の関係が有名。

鹿児島川内原発地元対策の帰途の車中において、久間氏は田中副社長